



ブックフェア、2つの講座、ライトアップ等『認知症啓発月間事業』と各地の模擬訓練、新たに始まる見守りシールのご紹介を掲載しました。

発行：北九州市認知症支援・介護予防センター
 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

☎ 093-522-8765

ホームページ
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/ninkai-center/>

認知症地域支援推進員
 中村真理子 松岡由佳 岸森章子



認知症ブックフェアのご協力に感謝！！

令和3年度に引き続き、市内14の書店と市立図書館全館（分館含む14館）にて『認知症ブックフェア』を開催いただきました。コーナーには、書店員さんや図書館司書さんがセンス良く並べてくださった書籍とともに、本市の認知症を学ぶハンドブックやリーフレット等も設置いただきました。お忙しい中快くご協力いただき、ありがとうございました！！



【ブックセンタークエスト様】



【くまざわ書店様】



【喜久屋書店様】



【白石書店様】



【未来屋書店様】



【中央図書館】



【子ども図書館】



【小倉南図書館】



【新門司分館】



【戸畑図書館】

番外編！

白野江市民センター・東朽網市民センターでも認知症コーナーを作っていました！



【島郷分館(若松)】



【八幡図書館】



【八幡西図書館】

- 協力書店様**
- 【ブックセンタークエスト】
 - ・小倉本店 ・大手町店
 - ・門司大里店 ・鞆ヶ谷店
 - 【喜久屋書店】
 - ・小倉店 ・小倉南店
 - 【くまざわ書店】
 - ・小倉店 ・サンリブ守恒店
 - ・若松店 ・ACADEMIA
 - ・サンリブ小倉店
 - 【白石書店 本店】
 - 【未来屋書店】
 - ・戸畑店 ・八幡東店
 - ・黒崎店



認知症フェアで展示が多かった書籍はこちらの3冊！



認知症ケアを学ぶ講座 『ユマニチュードってなんだろう』



令和4年10月18日開催 会場：北九州市総合保健福祉センター 講堂

今年度は認知症啓発月間中に、認知症の方を介護されているご家族、お仕事や地域で認知症の方をケアされている支援者を対象として、認知症のケアを学ぶ講座を開催しました。

第一部はコミュニケーション技法の一つである「ユマニチュード」をDVD映像で学び、その後、認知症体験者ご夫婦のお話を伺うという、大変貴重な機会をいただきました。そして、感じたことを胸に、第二部のカフェ・オレンジで交流を行いました。

定員を大きく上回る40名近い方からお申し込みがあったことから、認知症の方への効果的なよりよい関わり方・接し方への関心が高いことがわかります。

家族だからこそその介護の難しさもある中、「『優しさ』という感情に頼るのではなく、介護の技術としての知識が生かせれば、本人の気持ちが安定して、家族の負担が減るということが分かりとても勉強になった。」「認知症体験者ご夫妻のお話・姿に勇気づけられた。」「『介護する人とされる人』という形ではなく、人と人としての関係性を大切にしたい。」など、たくさんのご感想をいただくことができました。

また、紙を丸めた筒を使用し、実際に認知症高齢者の視野感覚をロールプレイで体感したことで、様々な気づきも得られたというお声もいただきました。

参加者の皆さんが認知症の方への向き合い方について見つめ直す一助となれば幸いです。



認知症にやさしい図書館

令和4年10月9日開催 会場：小倉南図書館



令和4年
10月9日(日)
14:00~16:00
13:30より受付開始

講座テーマ
「小倉でふれる内面世界」
講師 日川良博先生
認知症のケアは「やさしい」といいますが、やさしいとは何を指しているのでしょうか？
「やさしい」とは、認知症の方にとってどのような意味を持つのでしょうか？
「やさしい」とは、認知症の方にとってどのような意味を持つのでしょうか？

会場 小倉南図書館
3階セミナー室
（本館南側）14:00
（本館北側）14:00

予約 先着30名
10月23日締切
093-952-4511

お隣りの他に、
絵本の朗読や
交流会などもあります！
※館内之図（エムパーク）
認知症健忘資料展示中

北九州市健康福祉局 北九州市総合保健福祉センター 10階
北九州市立図書館 小倉南図書館 小倉南図書館 小倉南図書館

小倉南図書館との共催で、市内で初めて「認知症にやさしい図書館」と名付けた事業を開催しました。まず「何故、図書館と認知症なのか？」図書館と認知症のつながりについて、令和健康科学大学准教授谷川良博先生がひも解いてくださいます。広島での「認知症にやさしい図書館」の立ち上げ実績に裏打ちされた力強い講演でした。続いて和田芳隆小倉南図書館長さんが、熱い思いが伝わる絵本の朗読を披露されました。後半は講師ボランティアとして駆けつけて下さった3人の作業療法士さんとカフェ・オレンジの皆さんがコーディネートするカフェタイムを体験頂きました。講座後にもかかわらず多くの方が残って下さり、若い学生さんと共に、日々の暮らし、認知症や老いについて語りあいました。

認知症啓発月間オレンジライトアップ

令和4年9月21日～23日の3日間、小倉城、鷗外橋、モノレール平和



通り駅舎下、小倉駅新幹線口側駐車場の照明塔、小倉駅と黒崎駅前へのペデストリアンデッキが、認知症のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップされました。

夜が更けた空に、オレンジ色に浮かび上がった小倉城は、とても優美で幻想的でした。



平和通り



鷗外橋

【新しい認知症カフェのご案内】

『きらめきカフェ』

開催地：移動式カフェ（出張型）

開催頻度：不定期（要問合せ）

利用料金：原則100円（要問合せ）

問合せ：093-632-6688

事務局：(株) プロデュース

お里の家きらめき養福寺
(八幡西区養福寺町)



たびたび襲って来る新型コロナウイルス感染拡大の波。介護施設、事業所では面会制限が続き、カフェの開催中止を余儀なくされるなか、出張というかたちで依頼のあった先に出向く、移動式カフェが誕生しました。地域の方から“きらめきさん”と親しまれているきらめき養福寺のスタッフが、市民センター等のご希望の場所に、認知症予防の脳トレや体操等、ご希望の情報を持っておじゃまします。認知症カフェを体験したい方、お気軽にご相談、ご依頼下さい。

【訪問記】

9月26日、引野区民館で久しぶりに開催されたサロン“お達者クラブ”に出張した、「きらめきカフェ」におじゃましました。身体と脳の健康を目指したクラブ参加者の皆さんは、カフェ開始前から囲碁ボールで盛り上がり、会場は活気に溢れていました。予防医学インストラクターによる、「身体を温めると幸せになる」という温活がテーマの講座に、健康意識の高い皆さんが熱心に耳を傾けておられました。講座で身体と脳と心に良いお話を聞いた後は、ゴムバンドを使用し、無理なくストレッチできるリハビリ体操で身体を動かし終了。始終和やかな雰囲気の中で“きらめきさん”と地域の方たちとの良好な関係が伝わって来る、居心地の良いカフェでした。



地域が動き出しました。ICT活用、映画で学ぶ認知症、感染に気を付けながらのまちなか訓練、定位置型。形はいろいろでも地域の皆さんの熱い思いは同じです。ありがとうございます！



若松区高須地区と八幡西区引野校区は、北九大地域創生学群坂本ゼミとのコラボで開催。チャット活用による位置情報と写真の送付を体験。若い人との交流で楽しい時間になりました。

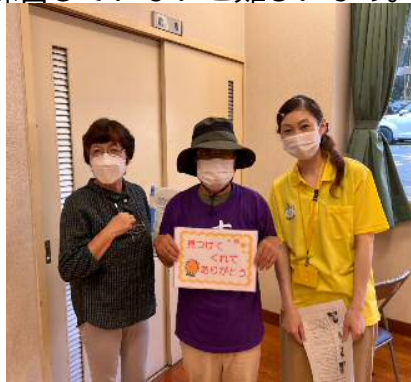


令和4年度 模擬訓練いろいろ ～大切に育んだ年に一度の啓発の機会～

八幡西区鳴水校区と小倉南区東朽網校区の定位置型声掛け訓練。たくさん情報があっても、気持ちよく受け入れてもらえる声掛けは、練習していないと難しいなあ。やってよかった♡



感染対策をしっかりと行い、まちなかで開催！小倉南区長尾校区



 情報を読み取ることでご家族と連絡がとれる QR コードのラベルシールができました。着用する衣類の背中上部、右腕上腕部、帽子の右側、シルバーカー、杖、持ち物やベルトに付けるキーホルダーなどに貼付して使います。
 利用できるのは、在宅で生活している要支援1から要介護5の方です。
 12月中旬から本格導入予定です。申込方法を紹介したちらしは、各区役所の高齢者障害者相談係または市内24カ所の地域包括支援センターで入手できます。

(登録後の)見守りシールの使い方
 お声掛け→安全確保→QR 読取→
 確認共有(インターネット上の伝言板でやり取り)→お迎え・ご帰宅



(実寸は 2.5 × 5.0 cm)

新しい見守りのカタチ
北九州市見守りシール
 のご紹介